

2024 年度 精神障害者地域生活支援部会活動報告

精神障害者地域生活支援部会 部会長 河野和永

2012年度から枚方市は中核市となり、精神に関しても部会を独自で設置運営することとなった。部会の活動の軸は、市内医療機関への“訪問面接”を各機関に協力をしていただき、医療と地域生活の接点を作り一人でも地域生活への移行を実現していくことを目指した。

一方でここ数年のコロナ状況下の中、医療機関との行き来は困難となっていたが、そのような状況の中でも不定期ながら定例会等を持つことができていた。

この一年の部会活動の報告とこの間事務局会議をはじめ今後の検討課題について報告する。

1. 年間活動報告 ―別表―

活動の軸となっていた市内医療機関への”訪問面接“は、外部から出向くことへの制限の中で一部の方々への動きを除いて広がることは困難であった。個別ケースに応じて現場との話し合い、了解の元訪問を継続することができたケースも少しではあるが持つことができた。

コロナ禍においては、定例会を2ヶ月毎に実施することも難しい状況であったが、この2年間は通常通り実施することができている。この間部会活動も含めて枚方市内で関係機関で構成する精神の方々への支援の体制作り等について、改めて検討する機会を持て、次年度に向けての活動の方向、軸として取り上げていくきっかけとなっている。

2. この間部会事務局を中心として議論されてきたこと、及び精神の方々への支援、関わり等のあり方について

- ① 長期に渡って入院を継続されている入院中の方々への関りについて
 - ・これまでの訪問面接等のあり方の検討等
- ② 地域における精神の課題を有しているの方々への関わり、地域における支援の体制作りについて
 - ・様々な立場で支援に関与できる方々との共働
 - ・地域における心の問題を抱えた方々への関わり、支援を含め多様な方々との連携と地域の体制作り
 - ・医療機関との関係作り。地域移行への支援の関わり。
 - ・地域で多様な課題を有して暮らす方々への関わり、支援の有り方。
高齢、複数の課題を抱えている方々への関りと支援の体制作り等。

令和 6 年度 枚方市自立支援協議会精神障害者地域生活支援部会活動報告【別表】

年	月	日	内容
R6	5	31	精神障害者地域生活支援部会拡大会議 ・ 令和 5 年度における活動報告 ・ 令和 6 年度の活動計画（案）について ・ 訪問面接の今後について 今後、当事者の高齢化等により精神障害以外の医療的なかわりが必要な方が増えており、今年度より枚方市訪問看護ステーション連絡会からも委員として出席することとなった。訪問面接では次年度再開に向けて検討を行なっていく。
	7	26	定例会 ・ 訪問面接の実施に向けた今後のスケジュールについて ・ 訪問面接にかかる協力依頼、説明用リーフレット等について 訪問面接の再開にあたり、医療機関への協力依頼文や当事者への説明用リーフレット（案）をもとに内容確認と意見交換を行なった。
			プロジェクト会議 継続ケースについて現状の報告
	9	27	定例会 ・ 訪問面接にかかるパンフレット及びリーフレットについて ・ 今後の検討事項について ①訪問面接の考え方 ②にも包括に関する取り組みについて 訪問面接の考え方、具体的な対象、対象者抽出について検討した内容の確認。にも包括に関連し入院者訪問支援事業等がスタートしており、訪問面接との使い分け等について検討。
			プロジェクト会議 継続ケースについて現状の報告
R6	11	22	定例会 ・ 訪問面接の考え方について ・ 訪問面接のリーフレットについて ・ にも包括の取り組みについて 訪問面接の実施に関する法的根拠の確認。にも包括における医療体制の役割についての情報提供があり、今後の動きについて共有を行なった。
			プロジェクト会議 継続ケースについて現状の報告

定例会のない月には、事務局会議を開催し、次回定例会に向けての話し合いを行なっている